日本一「住みやすい」松江に

松江市は、二十万都市を目指して定住対策に取り組んでいます。定住を進めるには、都市の活力を高める魅力アップはもちろん、住みやすい環境づくりが欠かせません。住んで、安心して生み育てることができ、働ける都市の環境整備が重要です。松江市では、どんな施策をとっているのか、将来像も含めて松浦市長にインタビューしました。

子どもたちと触れあいながら、お母さんたちと歓談する松浦正敬市長＝松江市乃白町、保健福祉総合センター「あいあい」

松江市内には、子育て支援センター「あいあい」のほかに、各地域に7カ所の子育て支援センターがあります。お母さんたちが交流を深めるなど、子育てサポートの拠点となっています。

地域資源のブランド化で産業振興／「縁結び市長の手紙」でUターン促す

定住人口20万人を目指して

まちの活力維持、高揚へ 欠かせない定住対策

日本の人口は、全体としては減っていますが、東京圏などは集中傾向が続いています。いろんな情報やアイデアは東京から発信されることが多い。これは、いろんなジャンルの人が都会に集まり、まちづくりにかかわっているからです。それ一つを取ってみても、人口がまちづくりに与える影響は大きいといえます。逆に、人口が減ることは、まちづくりに大きなマイナスです。松江市は県庁所在地でもありますし、そういったまちの活力を維持、あるいは高めていくためにも、人口を増やしていくことが絶対に必要であるという信念を持って定住対策に取り組みます。

働く・生み育てる・住む 3つの視点で総合的に

定住対策は、松江市へ住んでもらうということです。そのためには、あらゆる施策を総合的、体系的に行うことが大切です。今、「日本一住みやすいまちづくり」に取り組んでいます。それを推進するために「働く」「生み育てる」「住む」の三つの視点を掲げ、いろんな施策を体系づけています。住んでもらうためにはまず働く場が必要です。定住施策の一つの柱が産業振興です。

働く

松江市は原子力発電所の立地市ですので、その特性を活かして、雇用が増えるなどの一定要件を満たす企業に、八年間は電気代を補助する制度を設けています。これまでは、国の制度だけでは、地域によって補助率が異なっていましたが、松江市全域で統一して電気代が半額となるように制度を新設し、企業誘致に取り組んでいるところです。

松江が持つ資源のブランド化も進めています。「**Ruby**」という世界で有名なプログラミング言語は日本で開発されましたが、それを開発した人が松江市に在住しています。※オープンソースラボを設けたほか、島根大学と協力し、Rubyの講座を今年から始めました。松江市が出資しているRubyの技術認定をする会社では、Rubyの検定試験を行っています。「松江をRubyのメッカに」が合言葉です。

また、松江の**和菓子**を海外展開し、ゆくゆくは世界的なブランドに育てたいと思っています。そのためにも今ニューヨークでNEW松江菓子を販売しておられるところですが、アメリカでの評価が高まり、現地生産も視野に入れた取り組みになるよう支援していきます。この取り組みが評価されNEW松江菓子を国内でも売り出し、松江の和菓子の知名度アップにつながればと期待しています。

さらに、松江市の**ボタン**の生産量は、日本一であり、大根島は産地として有名です。鉢植えのボタンを温度調節などで真冬に開花させる、そういう技術を活かして、世界へ売り込んでいるところです。特に昨年、春節（旧正月）の時期に咲くボタンを、台湾へ持って行ったところ大変に驚かれました。台湾では春節に花を贈る風習があり、この時期に咲くボタンをプレゼントできることは台湾の人にとってすごいことだったのです。台湾での需要は急速に拡大し、生産が追いつかないほどです。今後、生産設備の拡充を図っていきます。これら三つのブランドの世界展開を、地元の産業振興にもつなげていきます。

松浦正敬市長

生み育てる

「子育てをするなら松江で」をめざして、県内トップの施策を行っています。妊婦の一般検診や不妊治療、就学前児童の医療費助成のほか、子育て版介護ともいえる子育てサポーターを昨年から始めています。市立病院では、金曜日を除いて、時間外でも小児科診療を受けられるようにしています。

住む

若者が定住しやすい安価な住宅や宅地を提供しています。土地開発公社などの開発では宅地内道路などを行政で行い、全体のコストを下げる工夫をしました。まちなか居住ができる環境づくりも、来年度の事業で行いたいと思います。さらに、住み替えのニーズに応えるため、住宅の流動化の仕掛けづくりも必要です。

情報の基盤でも、ケーブルテレビの整備を完了し、来年度からは市内全域で受信できるようになります。

手紙やモニターツアー 松江の魅力を多くの人に

昨年から「縁結び市長の手紙」を始めています。市民の方に紹介していただき、全国に手紙を出しています。公民館、支所などにも手紙を置いて、市民の方の協力をいただきながら取り組んでいるところです。返事をいただいた方の中には、「松江にUIターンをしてもいい」という人が約七百人おられます。

また、「定住地域振興課」に、「UIターン希望者の相談窓口」を開設しました。昨年度から、十九人がUIターンされ、家族を含めると三十三人の定住が実現できました。今年十月には、県外の方に参加していただく「松江暮らし体験」モニターツアーを行い、地域の皆さんとの交流を通して、松江に住むことを考えていただく場を提供しています。これは来年度以降も続けたいと思います。

「地元での就職を考える」親や教育現場の理解が大切

縁結び市長の手紙で「UIターンをしてもいい」と答えられた七百人の方の半分は、二十代、三十代の若者でした。自分が生まれ育ったところで、自分の技術や経験を活かしていきたいということではないでしょうか。そういうことを親の方々にご理解いただき、就職指導をする学校の先生にも、まず第一に地元への就職をすすめていただきたいと思っています。

いろいろな人のご理解を得ながら、今後も、引き続き定住対策に取り組んでいきます。

※オープンソースソフトウェアに特化した研究、開発、交流のための拠点

3つの視点を具現化する松江市の施策

働きやすい 環境づくり

企業立地の支援

企業立地を促進することにより、産業の振興・雇用の創出・地域の活性化に資するため、市内に事業所を新設・増設する企業に対し、他制度※と併用することで最長8年間、電気料金が半額となる市独自の優遇措置を講じています。

※他制度＝原子力発電施設等周辺地域企業立地支援給付金（F補助金）

Ruby City MATSUE プロジェクト

プログラミング言語「Ruby」を核として、オープンソースソフトウェア等に関する研究、開発、交流活動を支援し、人材の育成、IT企業の集積、雇用創出を図り、IT産業の振興を目指しています。

（写真：島根大学Rubyプログラミング講座）

松江大根島牡丹の生産拡大

牡丹生産者、JAと松江市が一体となって、鉢花や切り花の直接取引による独自の販売ルートを確立し、出荷額の増加を図っています。今後も、新品種の導入や生産施設の増設等の対策により、農家所得の向上を図り、担い手の育成を目指します。

●企業誘致を推進します
- 企業立地奨励制度の充実
- 情報サービス産業の企業立地を支援

●地域ブランドを創出し、育成します
- NEW松江菓子の海外市場への販路拡大支援
- 地域ブランドとなる特産品の産地育成（ボタン・玄丹そば・アワビなど）

●起業や就業の支援を充実します
- 高校生の地元就職支援
- 起業の支援
- 新規就農者への支援
- 新規の自営漁業者への支援

住みやすい 環境づくり

緑あふれ自然と調和する住環境を実現

「秋鹿ふれあい団地」追加募集

松江市の中心部から車で約20分、一畑電鉄秋鹿駅から北へ400m。緑豊かで落ち着きのある田園集落に、良好な環境と調和する安価な住宅地を提供します。

◎受付期間：平成20年1月10日～3月末・先着順

バス路線ネットワークの整備

市内バス路線の再編とダイヤの改正によって、拡大した市域を結ぶ交通ネットワークの整備を行いました。また、割引制度の統一により、市内路線バスをご利用の際、高齢者手帳をお持ちの70歳以上の方は100円の割引、障害者手帳等をお持ちの方は専用無料カードで乗車できるようになりました。

ケーブルテレビ、高速インターネット環境の整備

平成20年3月には、市域全域でケーブルテレビと高速インターネットの環境整備が完了します。テレビ難視聴の解消をはじめ、松江市からのお知らせ（行政情報、防災情報）や生活に密着した情報をお届けするほか、高速インターネットの利用も可能となります。

●公的住宅の充実と住まいの確保を応援します
- 若者向け定住促進住宅の供給
- 中堅所得のファミリー向け公共賃貸住宅の供給（特定公共賃貸住宅）
- 高齢者向け優良賃貸住宅の供給
- UIターン者への空き家情報の提供

●安心、安全な居住環境をつくります
- 住宅の耐震改修の支援

●交通政策を充実します
- 中・高校生の通学バス・電車の定期券購入費補助

●生活環境を良くします
- 下水道の整備（目標−平成21年度末までに汚水処理人口普及率100%）

生み育てやすい 環境づくり

就学前児童の医療費助成

0歳から小学校就学前のお子さんの医療費助成を充実させています。1カ月1医療機関での自己負担額は、入院2000円通院1000円を上限とし、調剤薬局は無料です。これは県内8市でトップの助成制度です。

保育サービスの充実

市内の50の認可保育所（幼保園のぎを含む）では、延長保育など様々な特別保育を実施しています。また、保育料は、国が定めた基準額と比較し、約33%軽減しており、この軽減率は、県内でもトップクラスです。

児童の総合的な放課後対策の充実
（放課後子どもプランの推進）

放課後や休日に子どもたちが主体的に遊び、体験できる活動の場・異学年や地域の大人との交流を深める場をつくり、家庭・学校・地域が一体となって子育ちの支援をする機運の醸成と環境を整えます。

●子育てを支援します
- 一般不妊治療費の助成
- 妊婦一般健康診査の負担軽減
- 新生児（赤ちゃん）訪問
- 時間外の小児救急医療体制の整備

●教育環境を充実します
- 小中一貫教育の推進
- 国際理解教育の推進（外国青年招致事業、小学校英語指導協力員の派遣）
- 一人一人の障害などの状態に応じた教育の推進（特別支援教育の推進）